

# HTLV-1感染実態について

相良 康子

日本赤十字社九州ブロック血液センター

# 日本におけるHTLV-1キャリア推測数には献血者データが用いられてきた

推定キャリア数  
**1,200,000人**  
うち、九州沖縄  
**607,300人(50.6%)**

推定キャリア数  
**1,079,000人**  
うち、九州沖縄  
**493,000人(45.7%)**



20年で僅か10%減  
大都市圏に拡大

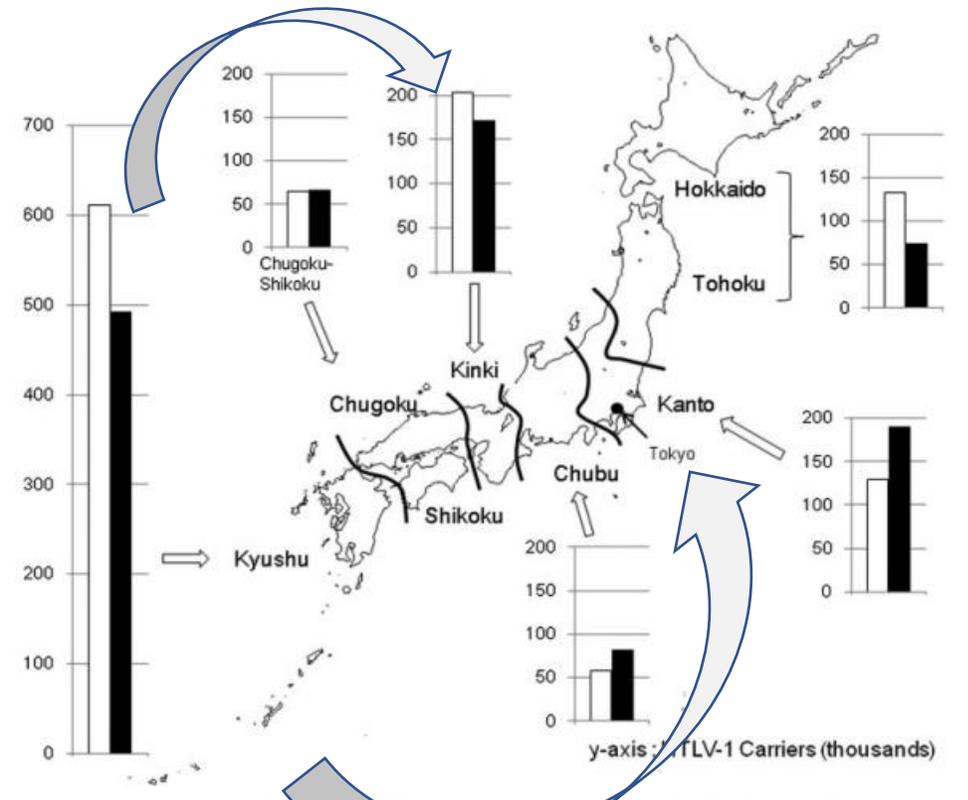
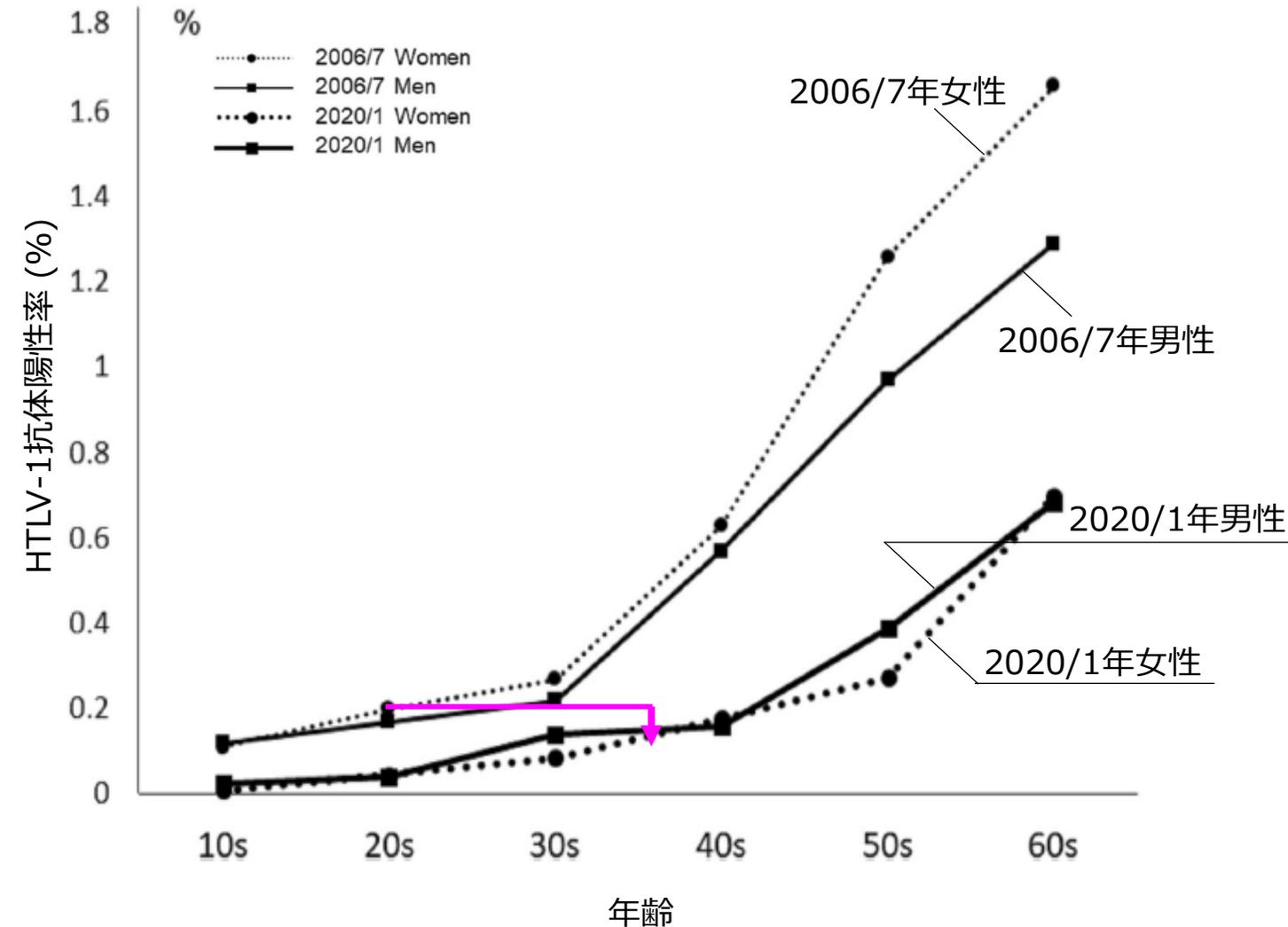


Fig. 4. Changes in the total number of carriers aged (0-99) in six districts of Japan over past two decades. Carrier numbers (thousands) in 2000-2005 (white bars) and 2006-2007 (black bars). For this analysis, Japan was divided into six districts such that the Hokkaido and Tohoku districts were combined, and the Niigata and Yamanashi Prefectures were included in the Kanto district.

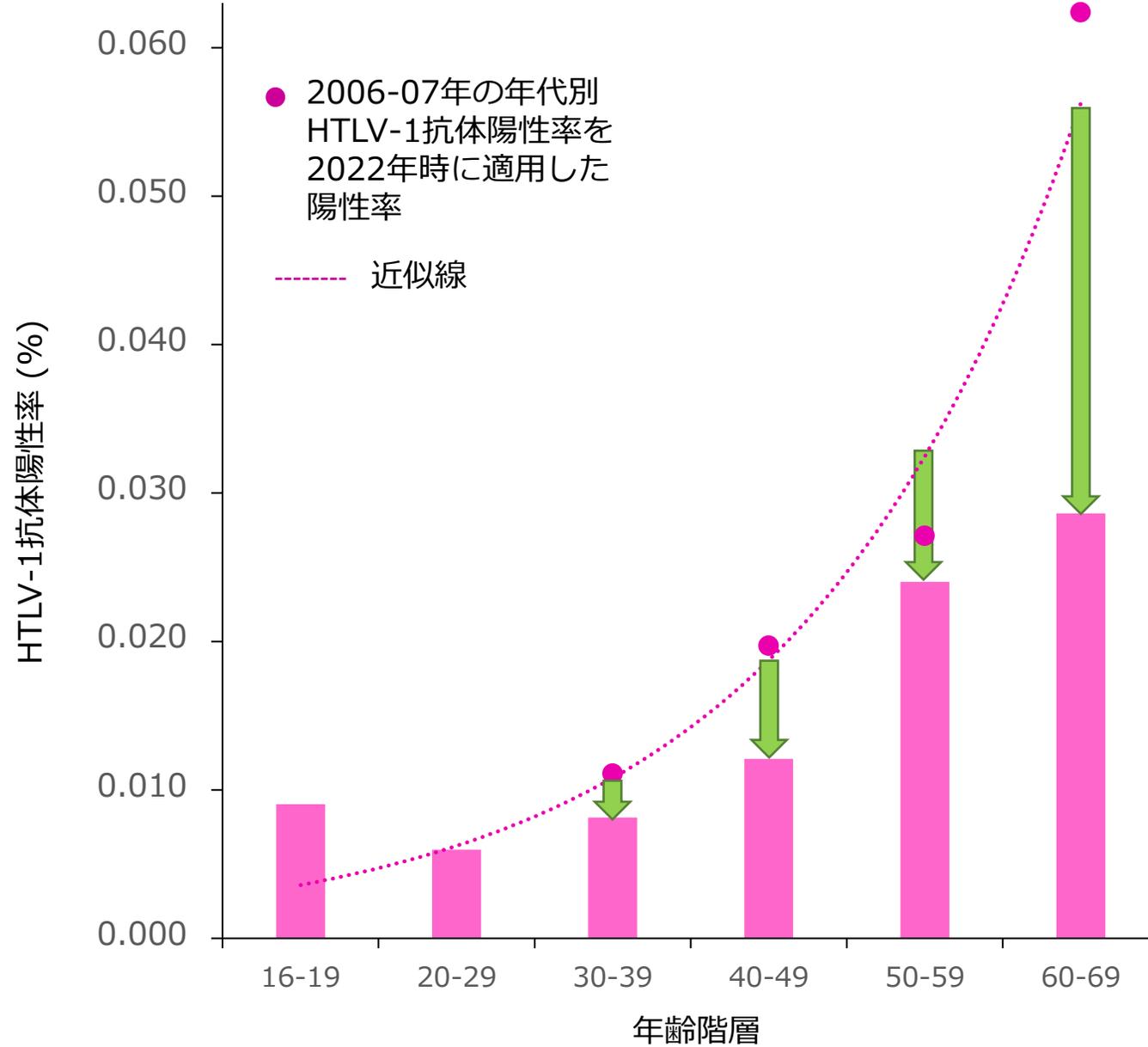
# 最新のHTLV-1キャリア推測数 (2020-2021年初回献血者HTLV-1抗体陽性率から外挿)



献血者の年代別のHTLV-1抗体陽性率は  
前回調査と比較して、**15年後の陽性率が  
下振れ**していたため、2006-07年調査時の  
男女比を参照して**補正值**を用いてHTLV-1  
キャリア推測数を得た。

**2020年  
658,000人**

# 献血者女性年代別HTLV-1抗体陽性率



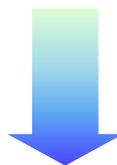
日本におけるHTLV-1キャリア推測数には  
献血者データが用いられてきた



献血者データのみからのHTLV-1キャリア数推測は困難

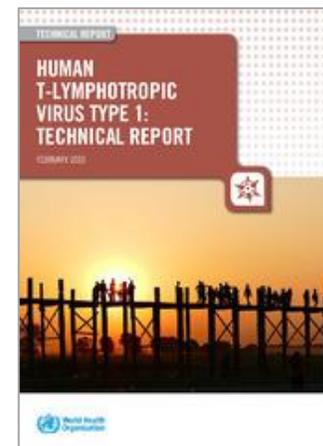


HTLV-1キャリア数把握 = **第1推奨事項**

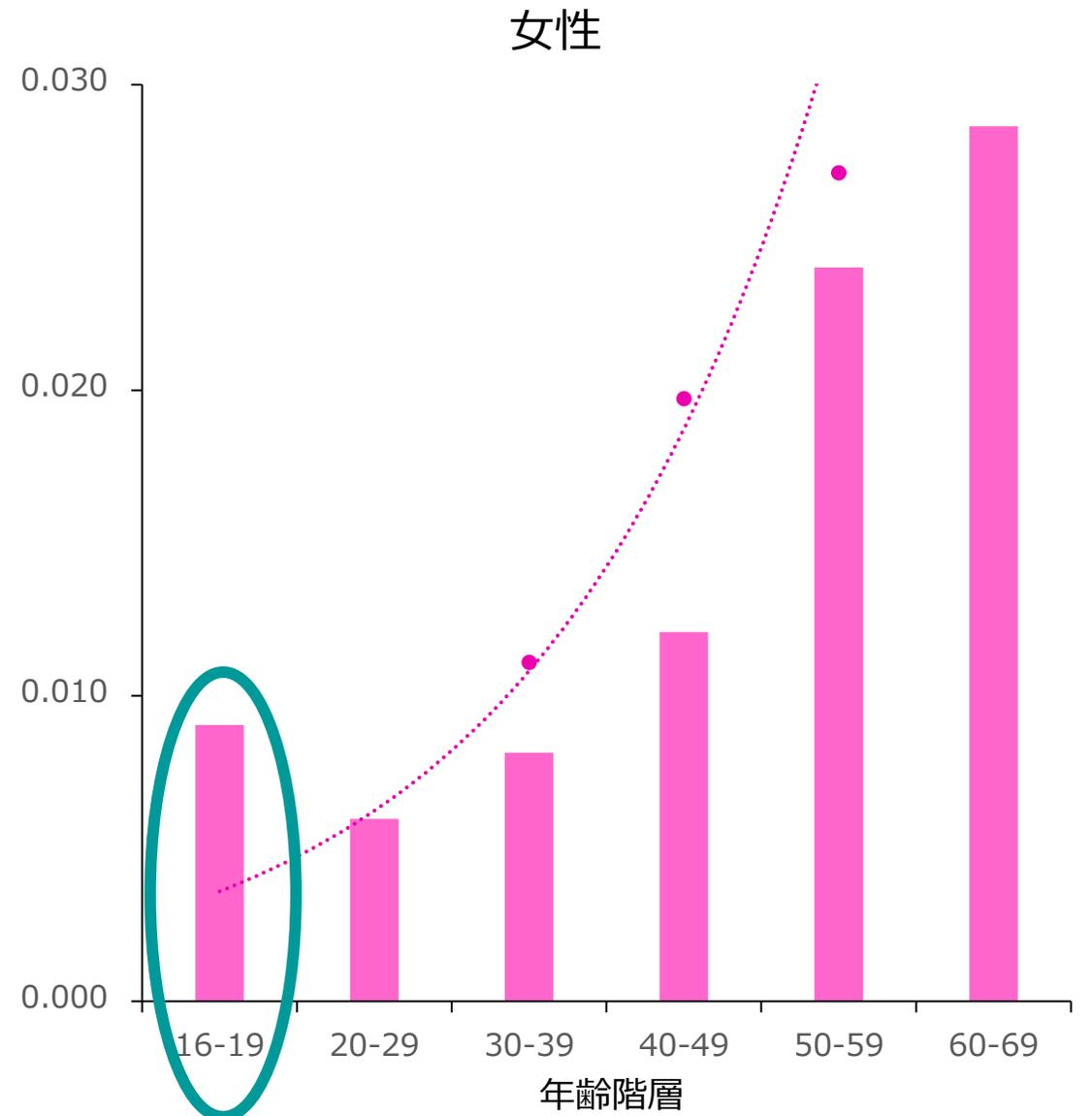
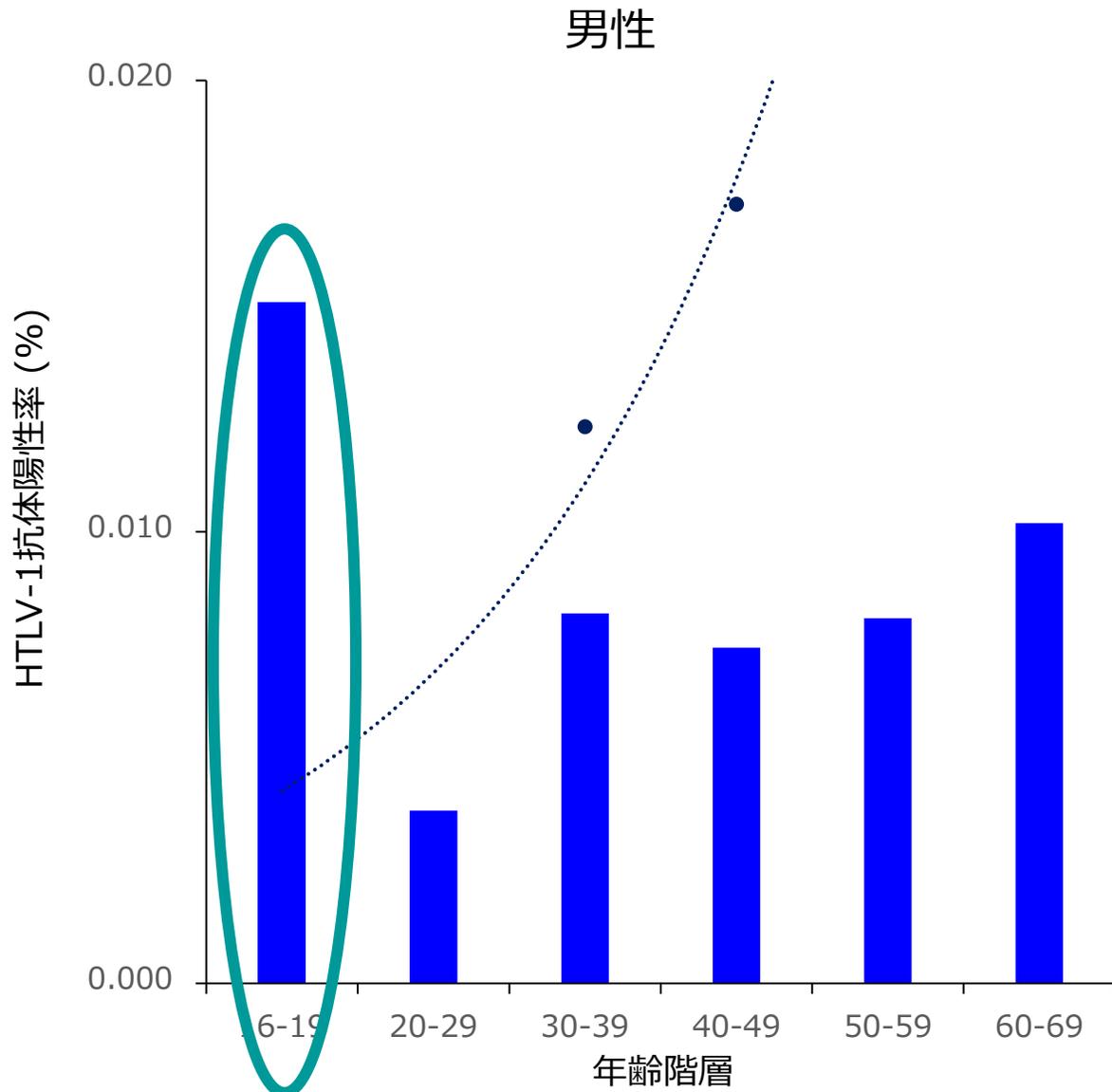


**検査対象の一般化が必要**

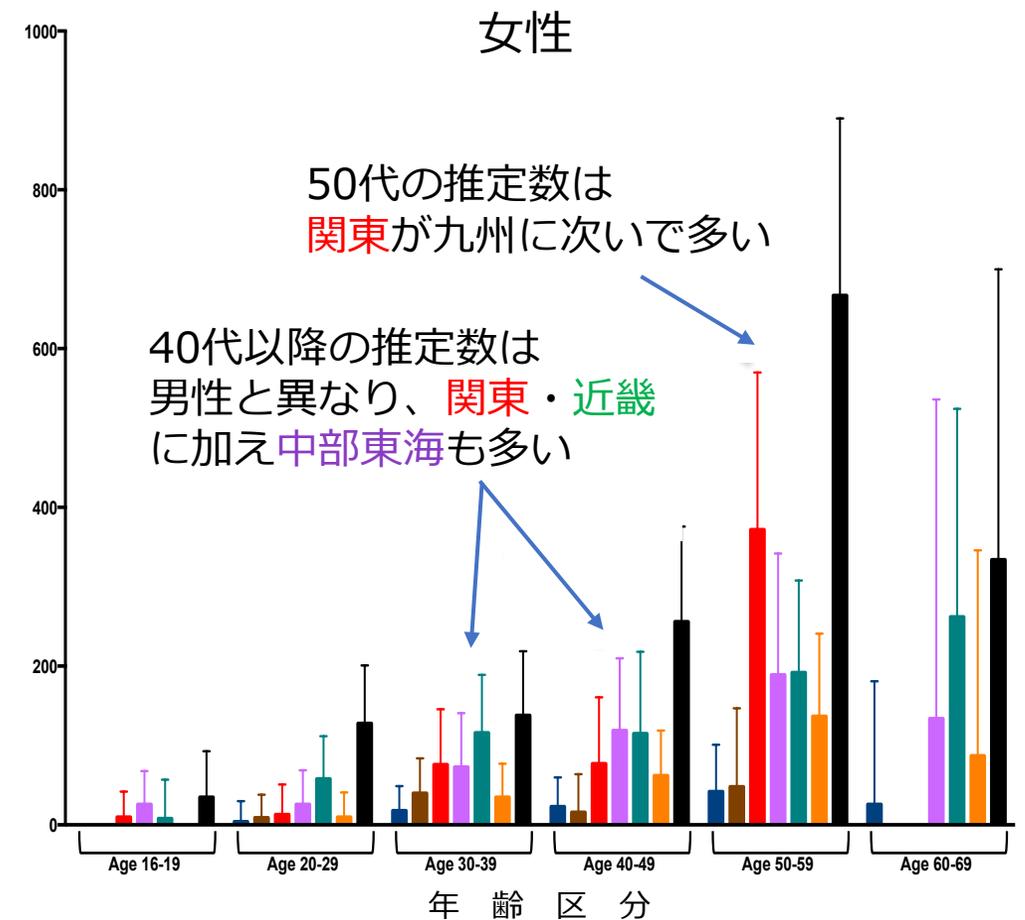
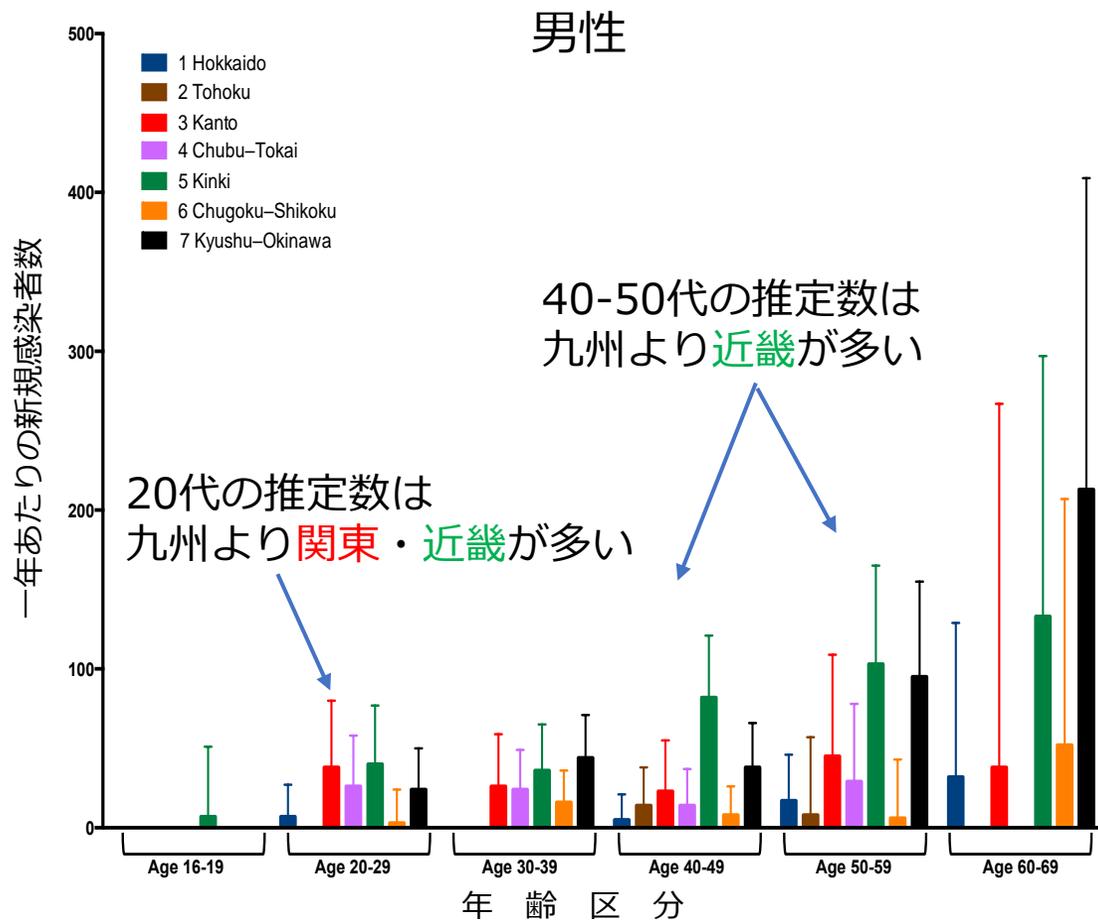
12の推奨事項



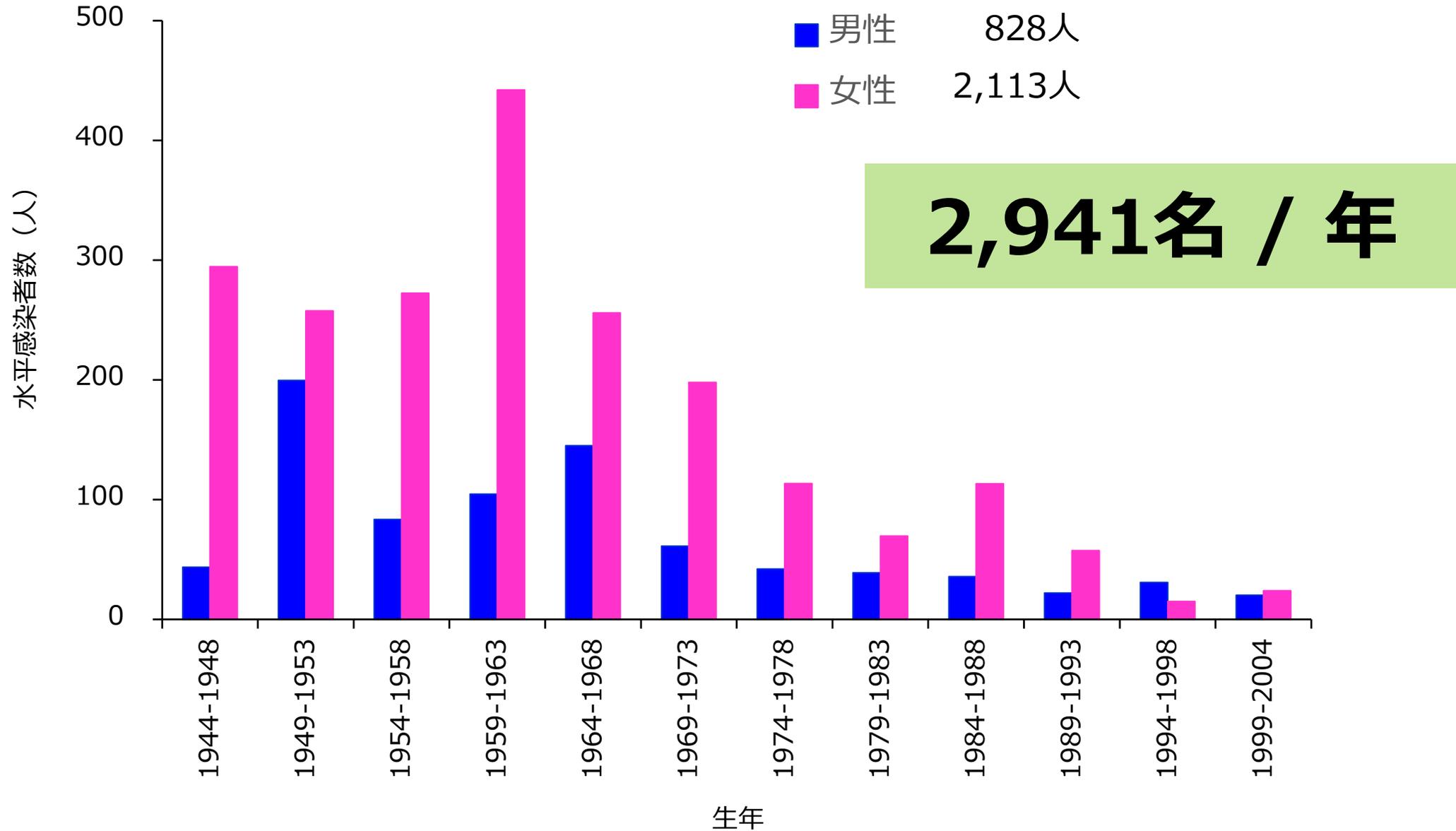
# 献血者年代別HTLV-1抗体陽性率



# 1年間に4,190名の新規感染者が生じている

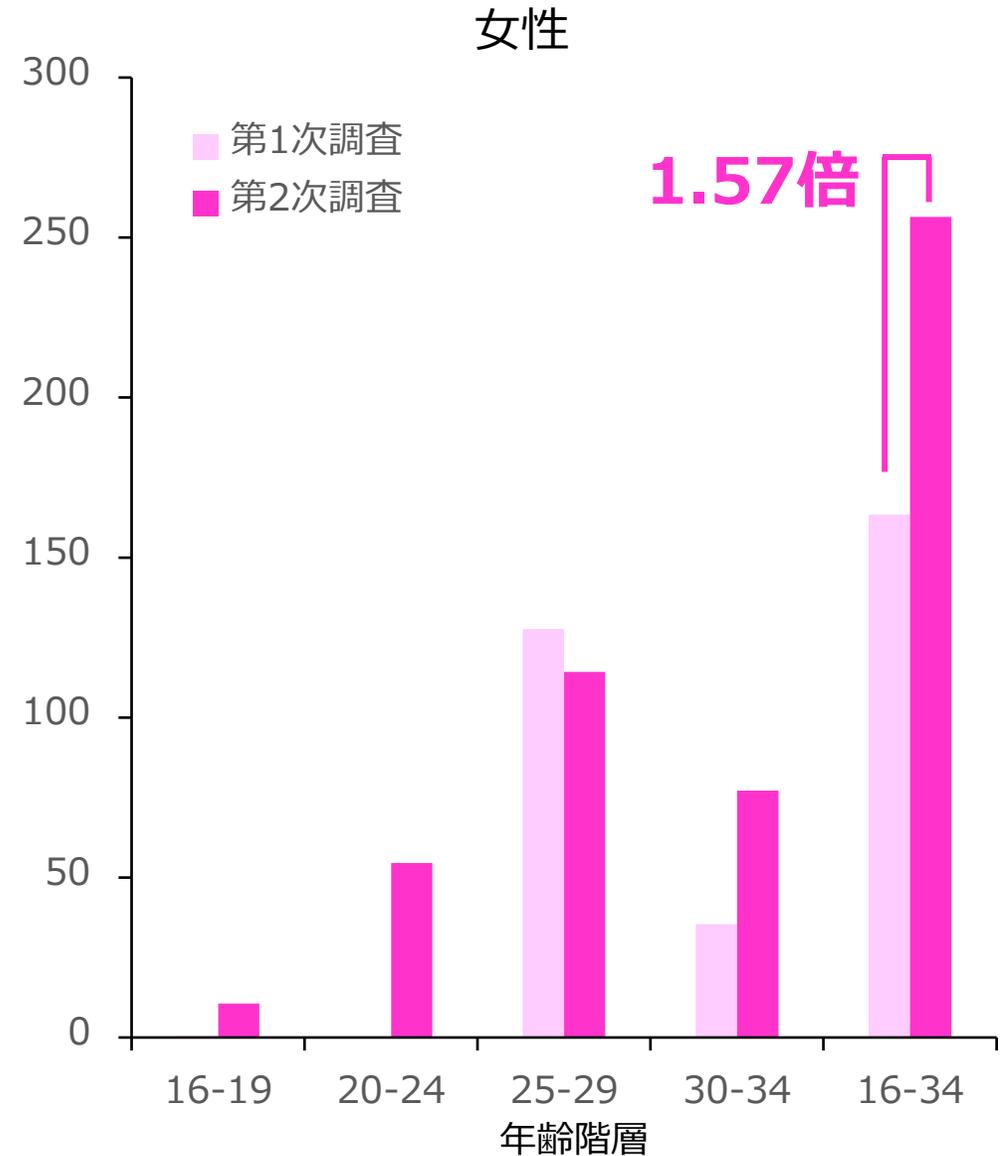
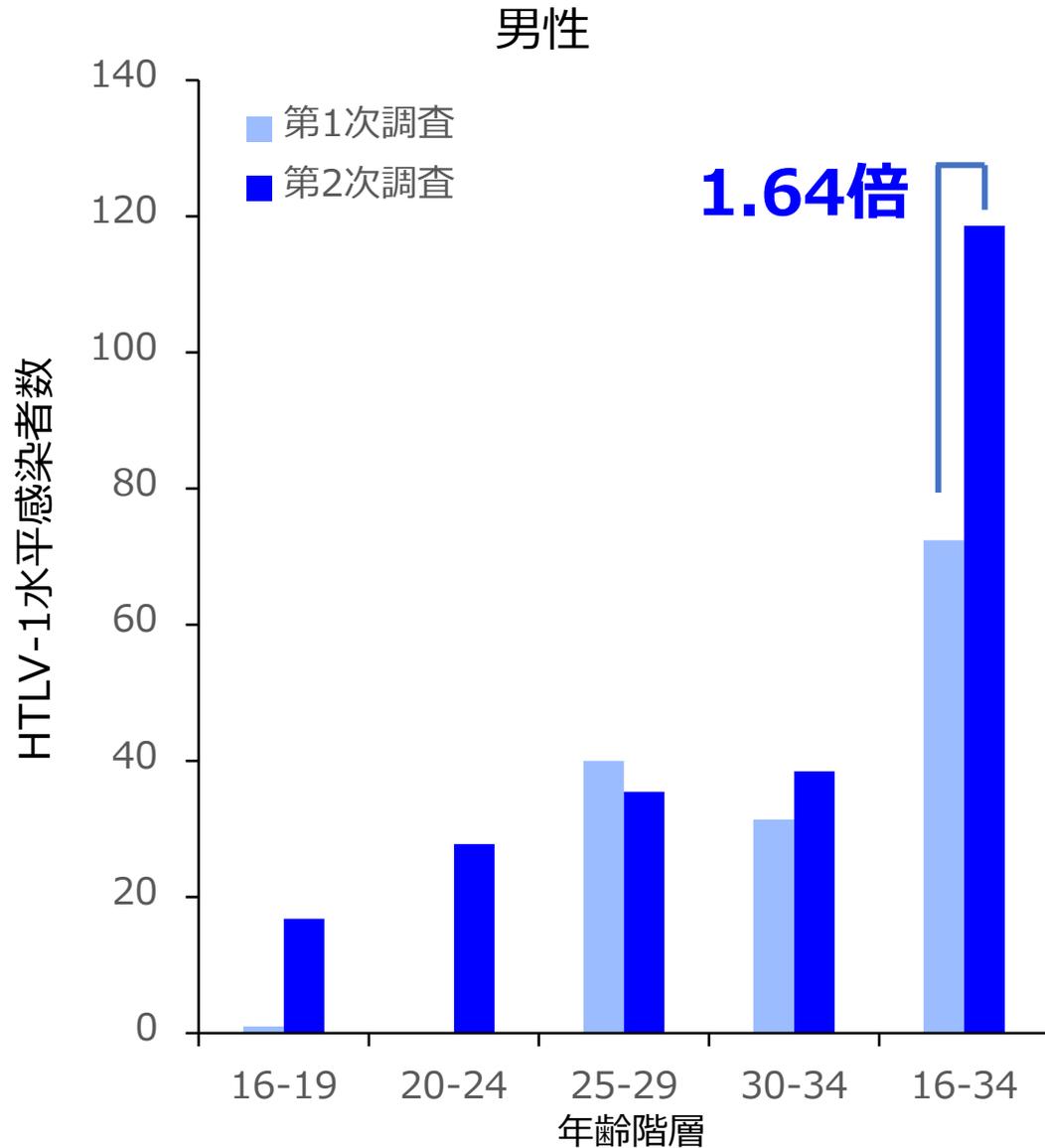


# HTLV-1水平感染の実態 -第2次調査(2013-2020年)-



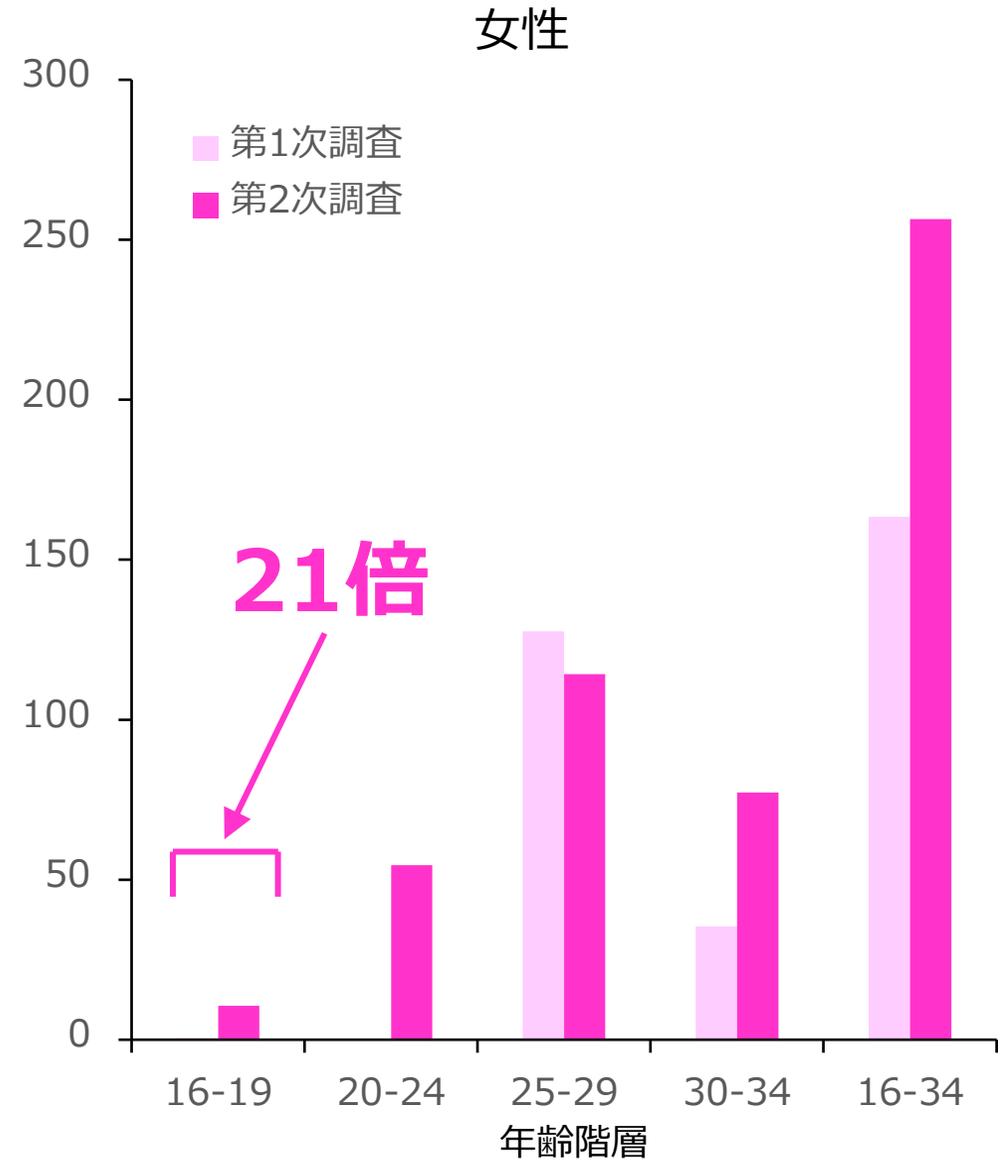
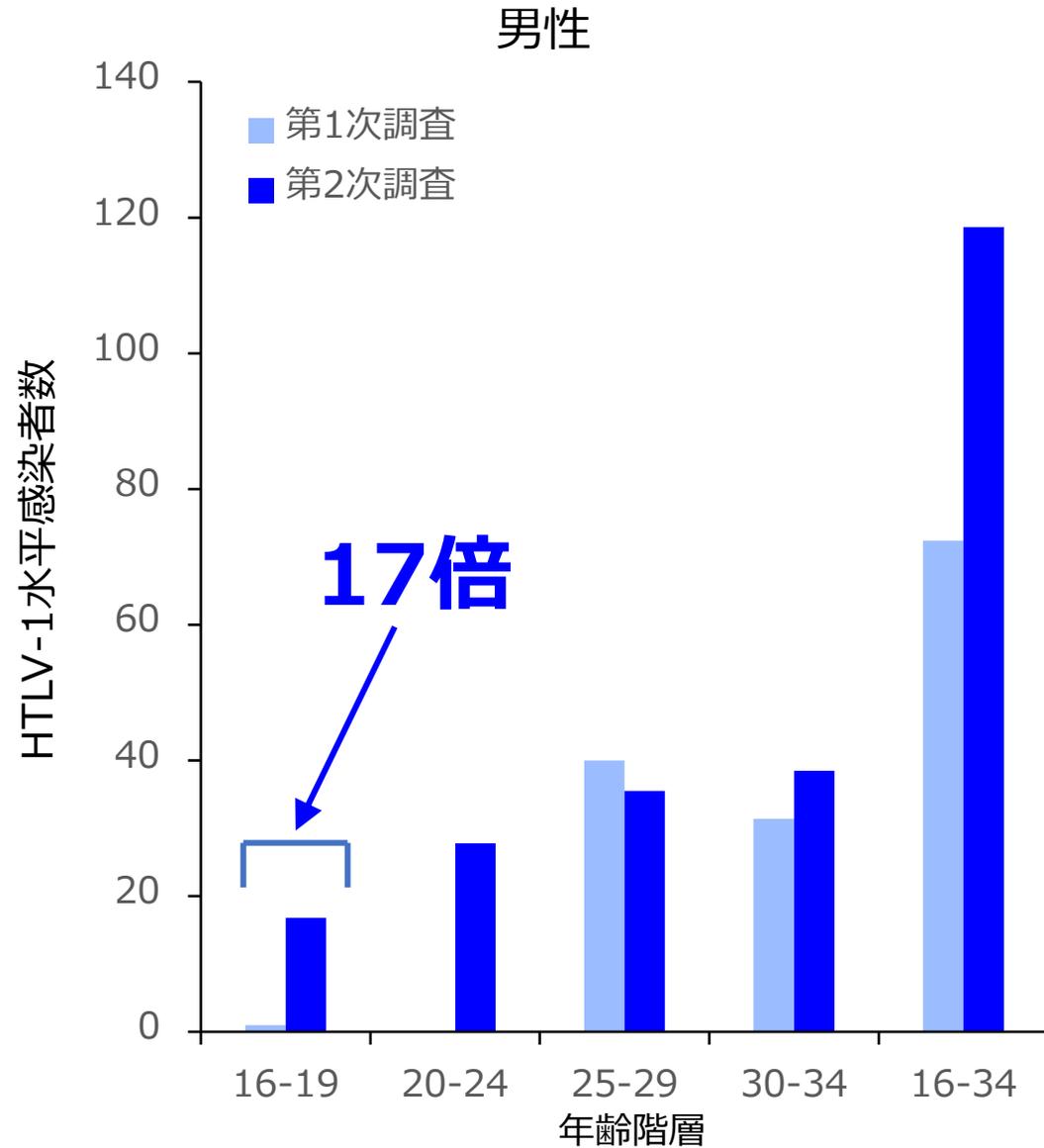
# AYA世代におけるHTLV-1水平感染者の増加

AYA世代 ; Adolescents and Young Adults 青年および若年成人世代



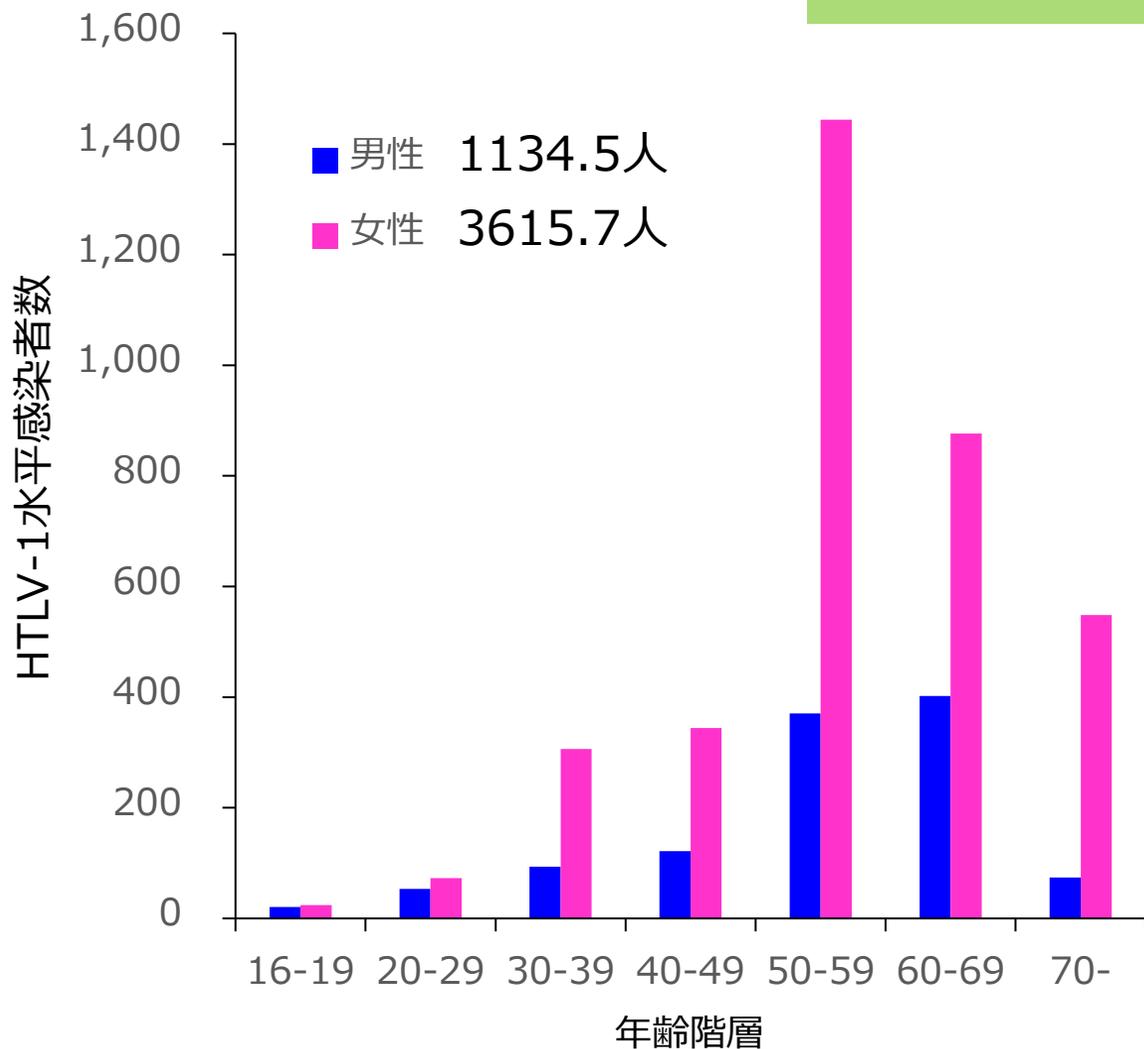
# AYA世代におけるHTLV-1水平感染者の増加

AYA世代 ; Adolescents and Young Adults 青年および若年成人世代



## 1年間に4,750名の新規感染者が生じている

第1次調査の**1.13倍**



1感染者あたりに発生が推測される水平感染者数

年齢階層	水平感染者数/感染者数
16-19	0.0318
20-29	0.0234
30-39	0.0169
40-49	0.0121
50-59	0.0220
60-69	0.0088
70-	0.0043

青少年期以降の感染が日本における  
HTLV-1感染の主経路になっている



若者向けの啓発  
無料検査の拡充



HTLV-1感染拡大の抑止が期待できる

## 【課題】

1. 一般集団を対象とした検査体制の整備と正確な疫学調査
2. 活動性の高い年代を中心としたHTLV-1水平感染に対する啓発と感染予防対策



**HTLV-1検査対象の拡充**

**検査陽性者受入れ体制の均てん化**

**医療従事者及び若年層に重点を置いた一般集団への啓発**

**感染予防対策の加速化**